Corporate
Presentation

2025年3月期

# 決算説明資料

*Code:2654*

株式会社アスモ

商号

～活力ある企業風土を育成する～

# 株式会社アスモ

ASMO CORPORATION

事業方針

超高齢化社会を迎える日本において、多方面から必要とされる企業を目指して各事業の「ストロングポイント」を的確に見極め
「事業間のシナジー」を最大限に発揮し、社会発展に貢献します。

企業概要　2025年3月末現在

| | |
|---|---|
| 設立 | 1975年4月26日（3月決算） |
| 資本金 | 23億2,327万円 |
| 発行済株式数 | 15,145,175株（自己株式 1,680,697株） |
| 代表取締役 | 代表取締役社長 長井 尊（2012年10月就任） |
| 主要株主 | ㈱Persons Bridge 60.9%　長井カズヱ 8.0% |
| 収益セグメント | ■食肉卸売事業（①食肉の輸入②食肉、食肉加工品の販売）<br>■給食事業（高齢者介護施設等における給食の提供）<br>■介護事業（①訪問、居宅介護事業所の運営②有料老人ホームの運営）<br>■香港事業（香港における①外食店舗の運営②食品加工販売）<br>■その他（グループ会社の統制・管理、不動産賃貸） |
| 連結子会社 | 7社　※詳細はP2をご参照 |
| 本社 | 【本社】東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル25階 |
| 連結従業員 | 1,492名【対前年度差 21名減】<br>本社16名 食肉卸売事業17名 給食事業559名 介護事業788名 外食事業112名 |
| 主要取引先 | ㈱ベストライフグループ、CARNES SELECTAS、丸大フード㈱、㈱上原ミート、㈱ハーモニック、各種の医療機関 ／ 社員食堂 等 |

●・・・・【事業間のシナジー効果】 ・・・・▶

**アスモ** 2013年4月～純粋持株会社体制

2025年 3月末現在

■その他事業(グループ会社の統制・管理、不動産賃貸)

### ■食肉卸売事業

㈱アスモトレーディング
連結100%子会社

①海外の食肉の直輸入
②国内の食品の輸出
③食肉及び食肉加工品の卸売販売
④食肉及び食肉加工品の通信販売

### ■給食事業

㈱アスモフードサービス
連結100%子会社

㈱アスモフードサービス東日本
連結間接所有割合100%子会社

①医高齢者施設(253事業所)
②医療(病院・診療所)(11事業所)
③障害者施設・療育センター(4事業所)
④社員食堂・学生食堂(4事業所)
⑤学生寮・社員寮(2事業所)
⑥保育園(1事業所)

### ■介護事業

㈱アスモ介護サービス
連結100%子会社

㈱アスモライフサービス
連結間接所有割合100%子会社

①訪問介護(33事業所)
②居宅介護(11事業所)
③有料老人ホーム(7施設)
④介護タクシー(4事業所)

### ■外食【香港】事業

ASMO CATERING (HK)
連結78.5%子会社

①和食レストラン12店舗
店舗名「今助」「秀吉」「北の坂」「彩」「都島屋」「虎蔵」
②食品加工販売
③香港以外での外食事業展開
④自社食品工場を活用したOEM事業の展開

### ■その他事業(台湾の外食店舗運営)

ASMOCATERING (TAIWAN)
連結間接所有割合78.5%子会社

現在 事業を休止中

### □ベトナムの外食店舗運営

ASMOCATERING (VIETNAM)
非連結

### □マレーシアの外食店舗運営

ASMOCATERING (MALAYSIA)
非連結

①ISETAN Lot10
Isetan The Japan Store,Lot 10 LGF,DASHI Delica SAYA, 50, Jalan Sultan Ismail,50250 Kuala Lumpur
・店舗名：Delicatessen 彩
・店舗名：Dining 彩

②ISETAN KLCC
Suria KLCC, Concourse Floor, Unit D-2-1B & D-2-5, Kuala Lumpur City Centre, 50088 Kuala Lumpur
・店舗名： Bentou 彩
・店舗名： Delicatessen 彩

各事業の〝ストロングポイント〟を的確に見極め、〝各事業間のシナジー〟を最大限に発揮

**2025年3月期 前年同期比較**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 売上高： | △0.0 ％成長 | 20,529百万円 | 【前年同期　20,533百万円】 |
| 営業利益： | △51.1 ％成長 | 296百万円 | 【前年同期　606百万円】 |
| 当期利益： | △69.4％成長 | 143百万円 | 【前年同期　469 百万円】 |

## 25年3月期　セグメント別売上高

| 単位：百万円（切り捨て） | 24/3期 | 25/3期 | 前年同期比 |
|---|---|---|---|
| ■食肉卸売事業 | 4,443 | 3,922 | △11.7% |
| ■給食事業 | 7,883 | 8,469 | 7.4% |
| ■介護事業 | 5,691 | 5,464 | △4.0% |
| ■香港事業 | 2,509 | 2,668 | 6.3% |
| 売上高（全体） | 20,533 | 20,529 | △0.0% |

## 25年3月期　セグメント別営業利益率

| 期末ベース | 24/3期 | 25/3期 | 増減 |
|---|---|---|---|
| ■食肉卸売事業 | 1.7％ | 0.9％ | △0.8Pt |
| ■給食事業 | 4.2％ | 2.7％ | △1.5Pt |
| ■介護事業 | 8.4％ | 5.8％ | △2.6Pt |
| ■香港店舗事業 | △2.6％ | △1.8％ | ＋0.8Pt |
| 営業利益率（全体） | 3.0％ | 1.4％ | △1.6Pt |

※主要事業のみの表記

### ■卸売実績
世界的なインフレによる商品価格の高騰および日米の金利差による円安傾向の為替変動によりさらに商品価格が高騰し、販売数量が減少。世界情勢や気候変動などにより商品の流通にも支障があり販売減となる。品質と価格の安定を目指し、展示会などの出展を経て新たな販売先の獲得と販売チャネルを増加させます

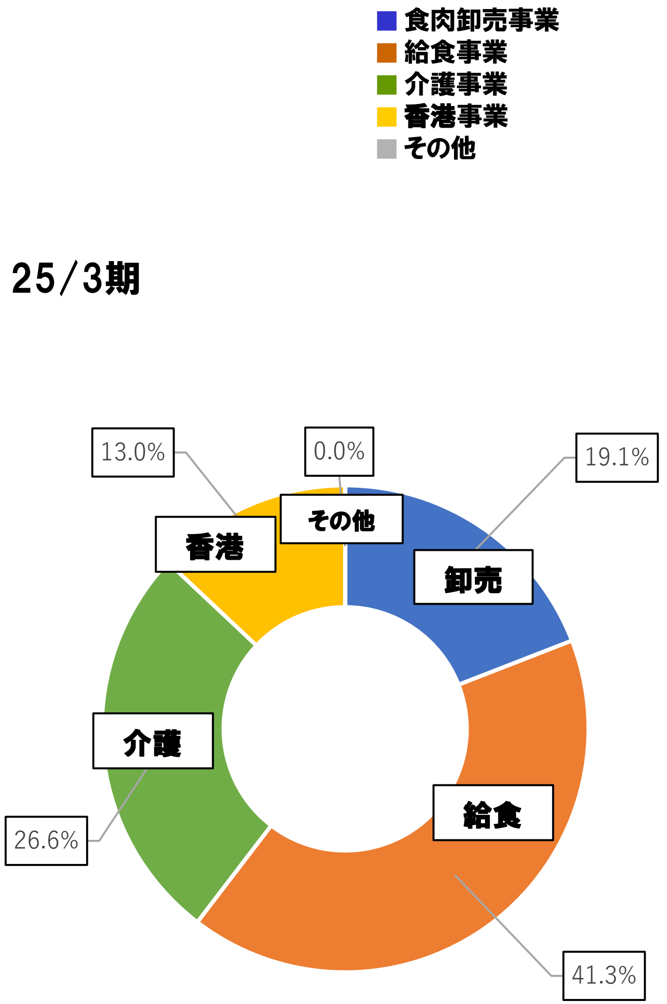
### ■フード実績
積極的な営業活動で受託施設増により受託施設数増
物価高騰により委託元との折衝により収益確保
販管費増に伴い利益率が低下しているので改善を図る

### ■介護実績
積極的な新規入居者様獲得による業績回復
職員定着率向上にて安定したサービス提供による収益力向上
物価高騰にて徹底したコスト管理による利益確保

### ■香港実績
卸売部門に関しては大手寿司チェーン等の日系企業との取引が増大し、保有するセントラルキッチンを活用した売上が外食部門を超え、売上は全体で年間2,509（百万円）確保出来るほどに成長
外食事業の業績は苦しい年度となったが、今年度においては改修工事を行い、稼働率を向上させ黒字化を目指す

| 単位：百万円（切り捨て） | 24/3期 | 構成比（％） | 25/3期 | 構成比（％） |
|---|---|---|---|---|
| ■食肉卸売事業 | 4,443 | 21.6% | 3,922 | 19.1% |
| ■給食事業 | 7,883 | 38.3% | 8,469 | 41.3% |
| ■介護事業 | 5,691 | 27.7% | 5,464 | 26.6% |
| ■香港事業 | 2,509 | 12.2% | 2,668 | 13.0% |
| ■その他事業 | 4 | 0.0% | 4 | 0.0% |
| 売上 | 20,533 | 100.0% | 20,529 | 100.0% |
| 売上原価 | 16,529 | 80.5% | 16,786 | 81.8% |
| 売上総利益 | 4,003 | 19.5% | 3,743 | 18.2% |
| 販売管理費 | 3,397 | 16.5% | 3,446 | 16.8% |
| 営業利益 | 606 | 3.0% | 296 | 1.4% |
| 営業外収益 | 69 | 0.3% | 19 | 0.1% |
| 営業外費用 | 9 | 0.0% | 3 | 0.0% |
| 経常利益 | 666 | 3.2% | 313 | 1.5% |
| 特別利益 | ー | ー% | 1 | 0.0% |
| 特別損失 | 16 | 0.1% | 31 | 0.2% |
| 税金等調整前当期純利益 | 650 | 3.2% | 282 | 1.4% |
| 法人税等合計 | 193 | 0.9% | 154 | 0.8% |
| 非支配株主損益 | △12 | △0.1% | △15 | △0.1% |
| 当期純利益 | 469 | 2.3% | 143 | 0.7% |

## セグメント別売上高の構成比



## 売上高

**20,529百万円**

△0.0+%

（ 前期比）

## 営業利益

**296百万円**

△51.1+%

（ 前期比）

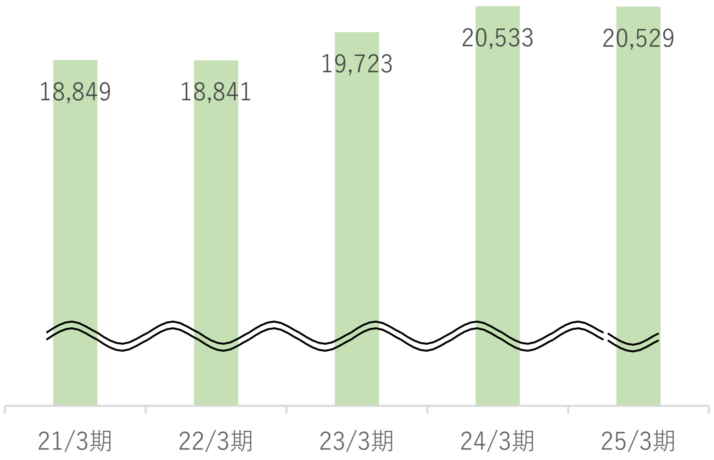
## ROE

**2.2 %**

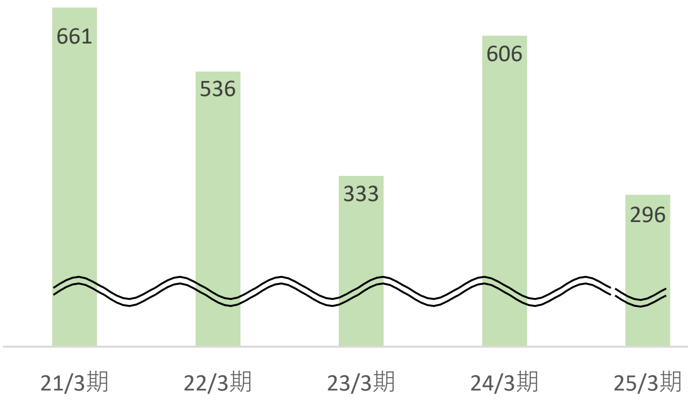
△4.8+%

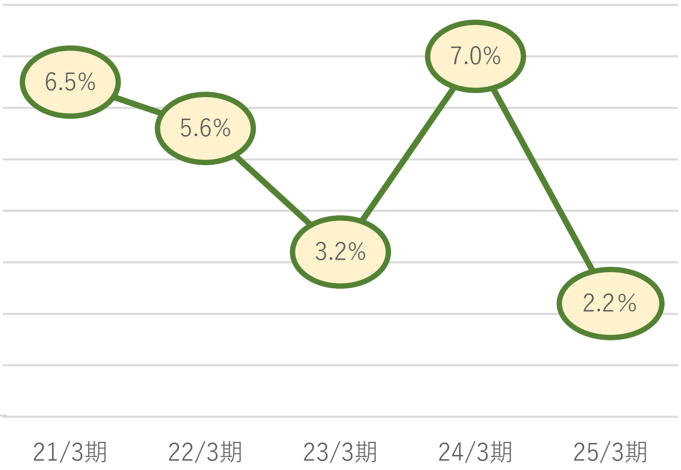
（ 前期比）

【百万円】




【百万円】



## 2025年3月期　セグメント別売上高

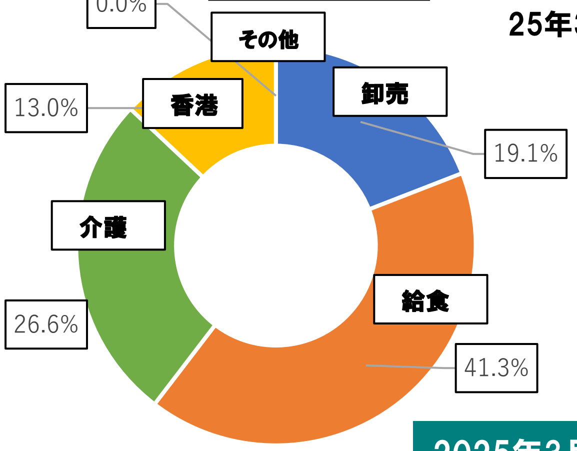
| 単位:百万円（切り捨て） | 24/3期 | 25/3期 | 前期比 |
|---|---|---|---|
| ■食肉卸売事業 | 4,443 | 3,922 | △11.7% |
| ■給食事業 | 7,883 | 8,469 | 7.4% |
| ■介護事業 | 5,691 | 5,464 | △4.0% |
| ■香港事業 | 2,509 | 2,668 | 6.3% |
| ■その他事業 | 4 | 4 | －% |
| 売上高　合計 | 20,533 | 20,529 | △0.0% |

| 単位:百万円（切り捨て） | 24/3期 | 25/3期 | 前期比 |
|---|---|---|---|
| 売上高 | 20,533 | 20,529 | △0.0% |
| 売上原価 | 16,529 | 16,786 | 1.6% |
| 売上総利益 | 4,003 | 3,743 | △6.5% |
| 販売管理費 | 3,397 | 3,446 | 1.5% |
| 営業利益 | 606 | 296 | △51.1% |
| 経常利益 | 666 | 313 | △53.0% |
| 当期純利益 | 469 | 143 | △69.4% |

| | | |
|---|---|---|
| EPS(円) | 34.9 | 10.67 |
| ROE(%) | 7.0 | 2.2 |
| 1株の配当金(円) | 10.0 | 10.0 |

### 売上高構成比率

25年3月期




■食肉卸売事業
■給食事業
■介護事業
■香港事業
■その他

2025年3月期
業績計画　Point

■食肉
主力商品である当社オリジナルのメキシコ産チルド牛肉の継続的販売
卸売事業として顧客ニーズに合わせた提案型営業の強化
通信販売事業として販売チャネルの増加による販路拡大とPB商品開発

■給食
積極的な営業活動及び官公庁や自治体への入札参加による受託施設増加
食品加工工場のM&A等を模索しケータリング事業への参入を検討
従業員の処遇改善を図り安定的な人材育成を行い業務効率の改善を図る。

■介護
介護報酬改定による減算を積極的な入居者様及び利用者様獲得にて軽減を図る。
新規施設開発による入居者様数及び利用者様数の増加を図る。

■香港
24年4月に改修工事を行ったセントラルキッチンで、昨年対比で製造能力150%増を可能とし
外食事業における立て直しを図り利益転換を実現する。

## 配当について

株主の皆様の日頃のご支援の感謝の意を表するとともに、当期の業績予想を踏まえ、
2025年3月期の期末配当予想につきましては、全期同様の配当額を維持し、
1株当たり10円00銭を予定しております。

## 株主優待制度新設

### 1. 目的

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を向上させ、より多くの株主様に中長期的に保有していただけることを目的に、株主優待制度を導入することといたしました。

### 2. 内容

グループ会社である株式会社アスモトレーディングの商品を贈呈いたします。
2025年9月30日現在の当社株主名簿に記載または記録されている3単元(300株)以上を保有されている株主様を対象として開始いたします。
贈呈時期:12月上旬より順次発送

## 商品イメージ

商品の情報はこちら
アスモマート / TOPページ (mart.asmo-trading.co.jp)

| 保有株式数 | 内　容 | |
|---|---|---|
| 300株以上 | 松阪牛カレー(1人前)×1個<br>松阪牛焼肉缶詰170g × 1個 | (3,600円相当分) |
| 500株以上 | 松阪牛カレー(1人前)×3個<br>松阪牛焼肉缶詰170g × 1個 | (6,200円相当分) |
| 1,000株以上 | 松阪牛カレー(1人前)×4個<br>松阪牛焼肉缶詰170g × 2個<br>神戸牛焼肉缶詰170g × 2個 | (14,600円相当分) |

## ■食肉卸売事業

### メキシコ産チルド牛肉販売への取り組み

世界的なインフレ、世界情勢及び気候変動および極度の円安の影響で輸入牛肉全体の価格が高騰している中でも、メキシコ産チルド牛肉は他の輸入牛肉と比較して高品質で低価格の商品を当社オリジナルの商品として提供できるよう生産者と提携することができております。その商品を展示会や商談会等を通じて販売網を構築し、販売を強化して参ります。
メキシコ産ボナプライムブランドの商品は、メキシコ産牛肉の中でも高品質でリーズナブルな価格の商品として位置しており、他社の販売する商品と差別化の図れるオリジナル商品として既存顧客及び新規顧客への販売を強化し市場規模拡大を図ります。

### 通信販売事業の今後の取り組み

通信販売事業においてはお中元やお歳暮などの市場規模が縮小していく中、豊富な種類の銘柄牛を中心としたPB商品の開発を行い、銘柄牛の食べ比べなどの企画を新たな顧客層へ提案し、販売強化をはかります。
また、カタログ販売に特化した企業向けの提案を行っておりますが、個人消費者向けの販売も視野にインバウンド消費への対応、WEB販売の強化、ふるさと納税の返礼品としての提案など販売チャネルを増やして販路及び提案数の拡大による販売増を目指します。

### 国内流通食肉事業への取り組み

為替相場、気候変動、国際情勢及び世界経済の状況把握から想定できる環境を考慮し、お客様には現状の商品相場価格だけでなく、外的要因となる情報を提供し、お客様の置かれている状況を把握して適切な提案を行ってまいります。
商品知識を生かしてお客様に見合った商品提案をしていくことで継続的な販売を目指し、安定販売につながる営業を心がけます。
当社独自の商品などを積極的に案内し、他社商品との差別化をはかってお客様と当社の双方にとって有益となるように提案していきます。

## ■給食事業【介護施設向けが中心】

### 積極的な新規営業活動・地方自治体等への入札参加により受託数増加を図る

2030年問題など高齢化率の上昇が予想される日本において市場規模は今後ますます膨らむと考えられます。
そのような中で高齢者福祉施設を得意としているアスモフード社の強みを活かし、継続的な営業活動を行うことで
業績拡大を狙います。
また、幼稚園、学校、病院など多種多様な受託先の開拓を同時に目指して参ります。

### 効率化を図ることで収益力を向上

原材料価格や人件費、物流費等の著しい高騰のなかで在庫管理の再徹底、人員配置の再構築による
業務効率化などを最大限に行い収益強化を目指して参ります。

### 職員の処遇改善を図り離職率を改善し働き続けたい給食会社を目指す

人手不足が深刻化する日本において、職員から選ばれる会社になるべく職員の処遇を見直す等、離職率を改善いたします。
安定的な雇用の元継続的な教育体制を構築し、業務効率を最大化させ顧客満足度の向上を目指します。
また職員への次ビジョンを明確にすることで、活躍目標のある環境を整えてまいります。

### 食品加工工場のM＆A等を模索しケータリング事業等への参入を検討

セントラルキッチン等の新設や食品加工工場を保有する会社のM&A等を行い、
ケータリング事業に参入する事を検討致します。
施設で温めるだけで食事が出来るケータリング形態での新規受託を目指す等、
多様な給食受託形態を構築し様々な給食ニーズにお応え出来るシステム構築を目指します。

～活力ある企業風土を育成する～
*モチベーション上昇！*

衛生管理体制

運営管理体制

人材育成体制

上記は洋菓子講習会

**受託契約数の推移**

| エリア | 24/3（末） | 25/3（半期） | 25/3（末） | 対前年度差 |
|---|---|---|---|---|
| 本社 | 180 | 186 | 190 | 10 |
| 東日本 | 81 | 86 | 85 | 4 |
| 合計 | 261 | 272 | 275 | 14 |

**事業活動**
**Point 1**

**■給食事業（2025年3月末の受託契約数 275件）**
**【1】受託契約の見直し**
**・・・高収益率の施設へ契約をシフト**
**【2】積極的な人材投資**
**・・・賃金アップや福利厚生の充実**

従業員研修

フルーツバイキングイベント

うな重（イベント食）

## 【フードパントリー支援活動】※イメージ画像

必要としている方に無償で食料を配布。
生存に必要不可欠な「食」を提供することで生活保障の一助となり、フード・セーフティネットの構築を目指して活動。
月に1～2回程度不定期開催

## 【イベント食写真】

## 【郷土料理写真】

**事業活動**
**Point 2**

■**給食事業**
**【3】子ども応援パントリーへ支援・・・食材の提供による社会貢献の実施**
**子供の貧困をなくす活動をサポート**
**【4】食の楽しみを提供・・・栄養バランスだけでなく、「食べる喜び(楽しみ)」を。**
**旅行気分や四季を感じられるイベント食**

## ■介護事業

### 入居率及び訪問介護利用者数の回復

これまで老人ホームへの入居が困難とされていたご状態の方々も積極的に受け入れ
入居率及び訪問介護利用者数の回復を目指します。

### 職員の処遇改善により効率的な人員配置を行い収益力向上

安定的な雇用、人材育成及び事業所毎の介護サービス量に適した人員配置を行い収益力向上を図り
継続的な成長を目指します。

### 非収益部門の黒字転換等資本効率の改善

赤字拠点の黒字転換や介護タクシー事業の営業圏の見直し等を行うと共に
物価高騰等による各種補助金や補助金の申請にてコスト管理を徹底し、利益の最大化を図ります。

### 自社運営の新規老人ホーム開発

新規老人ホーム開発を積極的に行い、お世話をさせて頂く訪問介護利用者様、ご入居者様の獲得を目指します。
既存老人ホーム等のM&Aなども視野に、積極的な事業展開を図って参ります。

### 人材育成を強化し人的資本経営の推進

次世代の人材育成に重きを置き、基礎から専門性の高い分野まで幅広い研修を企画・立案し、
持続的成長の実現を目指します。

# Ⅲ. 現況の事業活動内容【 ■介護事業ー2 関 東 圏と関西圏を中心に展開】

2025年3月末 現在

## ■介護事業 介護事業所数の推移

| 期末ベース | 24年期末 | 25年期末 | 増減 |
|---|---|---|---|
| ● 訪問介護事業所 | 34事業所 | 33事業所 | -1 |
| ● 居宅介護支援事業所 | 12事業所 | 11事業所 | -1 |
| ● 介護タクシー営業所 | 4営業所 | 4営業所 | 0 |
| 介護支援契約者※ | 2,154名 | 2,083名 | -71 |

※ 介護タクシー利用者は除く

## ■介護事業 有料老人ホームの推移

| 期末ベース | 24年期末 | 25年期末 | 増減 |
|---|---|---|---|
| ■ 有料老人ホーム施設 | 7施設 | 7施設 | 0 |
| 入居者数（入居率） | 378名（87.3%） | 398名（91.9%） | +20（+0.4%） |

## 自社で運営する有料老人ホーム

2014年10月～（千葉県千葉市）
■①ベストライフ都賀 78室

2015年4月～（千葉県船橋市）
■②ベストライフ船橋薬園台 87室

2015年8月～（埼玉県川口市）
■③ベストライフ鳩ヶ谷※ 52室

※上記施設は2017年3月から
介護付き有料老人ホームとして営業開始。

2016年10月～（神奈川県横浜市）
■④ベストライフ金沢文庫Ⅱ 45室

2017年4月～（東京都三鷹市）
■⑤ベストライフ三鷹 64室

2017年6月～（大阪府豊中市）
■⑥ベストライフ豊中 60室

2022年5月～（東京都小平市）
■⑦ベストライフ一橋学園 47室

## ■香港事業

### 自社食品工場を活用した卸売り事業の収益強化

卸売り事業においては、ここ数年でも相次ぐ日系大手外食チェーンの香港進出を機会に2023年度においては67350千香港ドル（約13億円）売上を確保しており2022年度対比で132％と順調に売上を伸ばしております。 2024年度の上期も2023年度対比で116％と更に伸び続けています。2024年4月には食品工場を約1億円の費用を投じた拡張改修工事を行い、 製造能力を向上させたことにより更なる売上向上及び収益強化を目指して参ります。

### 外食事業の既存店収益の改善

香港民主化運動から始まりコロナ禍を経てようやく回復するかと思われた香港市場ですが中国元と米ドルにリンクする香港ドルの為替変動により香港ドルの価値が高まったことを主因として、香港においては『北上消費』と呼ばれる現象が顕著になっています。香港人が香港内ではなく、『北』すなわち深センなどの中国本土に向かい、買い物や食事をするという消費行動を指します。外食事業にとっては厳しい環境が続きますが、2024年9月には最も多くの赤字を計上していた神楽屋啓田店においても撤退を完了しております。現行12店舗あるうち本年に契約更改を迎えておりました、6店舗につきましては各家主に現状を鑑み売上歩合にて設定されている家賃を2%-5%下げて頂いております。
今後既存店合計において全店採算ベースに乗せることができるよう取り組んで参ります。

### 外食事業の再構築

コロナ禍を経てこれまで外食一辺倒であった香港人の食のスタイルにも変化がみられます。
当社の外食事業においてもこれまでのように客席を併設するレストランタイプよりも『中食需要』により強い業種の開発を実施して参ります。現状は自重しておりますが、事態が好転した際には出店ができるよう自社食品工場の機能を最大限に生かし、店舗における加熱、調理作業を極力減らし省スペースで効率の高い日本の惣菜ショップの開発を実施して参ります。

### 香港以外での外食事業の展開

マレーシアで展開している惣菜店舗「彩」の新規出店や、別業態で出店を模索いたします。
ベトナム等東南アジアでの外食事業のチャンスを模索し、2～3年の間に外食店舗数を10店舗程度を運営出来る様、積極的な事業展開を行って参ります。

香港で自社キッチンを保有している強みを活用！

アスモ香港の食品工場ではISO22000を取得しております。
ラーメンのチャーシューやとんかつ、
煮込み牛肉、ハンバーグなどの食肉加工品、
トマトソースやカレーなどの各種ソース、
うどん、ラーメンの麺類、プリンや　ロールケーキなどのデザート類など幅広い加工品を
小ロットで、多くの香港に進出されている
日系外食社様よりOEMでの受注を頂いております。

## 香港で豊富な日本料理ジャンルをご提供できるトップクラス企業

【１】1985年5月から香港の現地法人が、外食店舗事業を継続中。高い信用力
【２】香港で自社システムキッチンを活用した、食品加工販売事業が成長中
【３】日系企業のため、現地企業に比べて日本食材の確保において優位性がある

2025年3月末 現在

| メニュー | うどん･すき焼き | 和惣菜 | パスタ･オムレツ |
|---|---|---|---|
| 店舗名 | 今助 | 彩 SAYA JAPANESE DELICATESSEN 和惣菜 / DASHI dining 彩 saya | Cafe Restaurant KOBE KITANOZAKA 神戸 北の坂 |
| 店舗数 | 1店舗 | 1店舗 | 1店舗 |

| メニュー | お好み焼き･たこ焼き | お好み焼き･たこ焼き | ラーメン･カツ丼･カレー |
|---|---|---|---|
| 店舗名 | 秀吉 | 都島屋 MIYAKOJIMA-YA | 元祖 虎 和風食堂 とら蔵 |
| 店舗数 | 5店舗 | 1店舗 | 3店舗（ローサイド店舗） |

ASMO

各事業の〝ストロングポイント〟を的確に見極め、〝各事業間のシナジー〟を最大限に発揮

お問い合わせ　　ir@ asmo1.co.jp

本社：〒105-0013 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル25階
TEL. 03-6911-0550　FAX 03-6911-0551

本資料は、2025年3月期決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2025年3月31日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、情報の正確性、安全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。